

未来型医療を創造するみなさんへ ～アフターコロナへの挑戦～

講師

池野 文昭

Program Director (U.S.) Japan Biodesign,
Stanford University



自治医科大学卒業後、9年間、僻地医療を含む地域医療に携わり、日本の医療現場の課題、超高齢化地域での医療を体感された。2001年からスタンフォード大学循環器科での研究を開始し、フィールドを出口戦略の方にシフトしながら、以後、14年間、シリコンバレーを中心に、200社を超える米国医療機器ベンチャーの研究開発、動物実験、臨床試験等に関与されている。

5月26日(火)、今年度の初回のDTSセミナーをオンラインで開催します。昨年の反響、リクエストなどを鑑み、スタンフォードバイオデザインの池野文昭先生(循環器内科医師、医療機器投資会社役員、開発研究プロフェッショナル)にご講演いただくことになりました。

池野先生は、自治医科大学卒業後、9年間、僻地医療を含む地域医療に携わり、日本の医療現場の課題、超高齢化地域での医療を体感されました。2001年からスタンフォード大学循環器科での研究を開始し、フィールドを出口戦略の方にシフトしながら、以後、14年間、シリコンバレーを中心に、200社を超える米国医療機器ベンチャーの研究開発、動物実験、臨床試験等に関与されております。

現在インド、シンガポールを中心に世界で患者さんに届く、医療にインパクトを生み出す医療機器のビジネススクールとして知られているスタンフォードバイオデザインに早くから関わられております。そうした取り組みは2015年に安倍総理がスタンフォード大学を訪問された際に日本でバイオデザインをはじめ、日本からシリコンバレーと手をつないでイノベーションを、とのご発言につながり、同年より文部科学省をはじめとした省庁、医機連のご支援の下、東北大学、大阪大学、東京大学が協働して日本から世界に通用するアントレプレナーを輩出することをめざすジャパン・バイオデザインがスタートし、すでにいくつかのスタートアップの起業につながっております。これまでの先生のご経験、現在のグローバルトレンドを踏まえ、これから私たちが抱える課題を解決し、テクノロジーを上手に使いながら、データに基づき、限られたリソースをやりくりしながらも、今よりももっと便利で卓越した体験を提供する未来医療の創造にチャレンジするみなさんへの熱いメッセージをご期待ください！また、ポストコロナはさまざまな環境がこういった方向に変わるのか、シリコンバレーの動向も踏まえておはなしいたします。

日時

2020. 5. 26 (火) 18:00～19:00

会場

オンラインセミナー (Zoomにて開催)



申し込み

以下 [1] か [2] のいずれかの方法で、5月25日(月)までにお申し込みください

1. 申し込みフォーム：<https://forms.gle/K57NdXX1fCfGqemv8>
2. メールに以下を明記の上『5/26 池野文昭先生講演会参加希望』と題して takuetsu-asu@crieto.hosp.tohoku.ac.jp へご連絡をお願い致します。
1) 氏名・フリガナ 2) 所属・役職 3) メールアドレス (参加 URL をお送りします)

◆ 公開セミナーとして開催されますので、どなたでもご参加いただけます



未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門